

新しい中学校の校名が 『倶知安中学校』に決まりました

第3回定例町議会で「倶知安町立学校設置管理条例」改正の議決を受け、 統合校の校名が最終決定

6月1日から30日までの間、平成25年4月に開校する新しい中学校の校名を、広く皆さんから募集した結果、266名の方々から112の校名案をいただきました。慎重に検討をした結果、以下のとおり決定いたしました。

統合準備委員会での作業

・校名選考に当たり、基準についての協議を行い、選考基準を作成しました。

選考基準

- 郷土に誇りがもてる
- 生徒が愛着をもてる
- 単純明瞭
- 応募数が絶対ではない
- 冒頭に新は使わない。
- ・応募があつた112の校名案から、選考基準に基づき応募理由を確認しながら1次選考を行い、6案に絞り込みました。
- ・1次選考の6案について協議・検討を行いました。全員一致の意見には至りませんでした。
- ・その後、決定方法についての協議を行い、最終的に多数決で「倶知安中学校」と決定し、選考理由・反対の意見も付記したうえ、教育委員会へ報告することとしました。

(賛成意見)

既存校の名前との捉え方ではなく、町内に一つの中学校となるので、町の中学校として倶知安中学校がよいシンプルでわかりやすい校名。

(反対意見)

新設校とするのだから、全く新しい名前の方が良い。
同じ名前では吸収統合のイメージになる。

(共通意見)

校名を倶知安中学校とした場合でも、統合されて新しくできる学校なのだから、校章・校歌・制服など他のものは変えるべき。

校名が何になっても、統合による生徒たちの不安や心配に対する、心のケアをしっかり行うことが大切である。

生徒が統合校で生活することに対し、消極的に考えるのではなく、可能性や新たな出会いなど、期待感が持てるよう、関係者（教育委員会、学校、PTA、保護者など）が協力して対応すべきである。

などの生徒を中心として考え、少しでもストレスを減らし、スムーズに統合できるよう、今後の取り組みに対する意見が多く出されました。

教育委員会での作業

統合準備委員会から報告を受けました。

その報告を基に教育委員会会議を開催し、統合準備委員会での協議では、最終的に全員一致ではなく、反対意見もあつたことを理解したうえで統合準備委員の意思を受け止め、教育委員会としても慎重に協議を行った結果、統合校として新しく開校する中学校の校名を「倶知安中学校」と決定いたしました。

最終決定について

9月5日に開会されました第3回定例町議会に「倶知安町立学校設置管理条例」の改正案を提案し、9月16日に議会の議決を受け、統合校として新しく開校する中学校の校名を「倶知安中学校」に最終決定いたしました。

現在の倶知安中学校及び東陵中学校につきましては、両校とも平成25年3月末をもって閉校しますので、校名は同じですが、イメージは「新倶知安中学校」となります。

《今後の予定について》

- ・平成24年度校舎の増改築工事とグラウンドの改修
- ・平成25年3月 両中学校の閉校式
- ・平成25年4月 新中学校の開校式

校名の決定に伴い、今後校章のデザインを募集します。募集内容や条件などにつきましては、現在詳細についての打ち合わせを行っており、11月号広報紙に募集の折り込みを予定しておりますので、皆様の応募をお待ちしております。